

この時期の勉強は土台づくりに軸足

中学受験をめざす新6年生は「受験学年」の新学期をむかえています。2024年度の入試に向け、春から1学期の前半までは「土台」となる力をかためる時期にあたります。効果的な取り組みや心構えについて、麻布個人指導会の先生に聞きました。(協力・麻布個人指導会)

1 保護者も入試問題に目を

具体的な志望校をかかげることは、受験勉強のモチベーション(やる気)に結びつきます。第1志望としてめざす学校については、6月ごろまでにかためることをおすすめします。志望校を考えるときに大事なのが、受験生と保護者が気持ちをつなぐことです。「本人の考えや自主性を尊重する」という場合でも、志望校選びに関連する情報は家族で共有します。めざすべきレベルを実感するため、保護者のみなさんは候補の学校の過去問(実際の入試問題)に必ず目を通してください。そのうえで「がんばっているね」などここのこもったことをかければ、受験生にとっていちばんの応援になるはずです。



2 計画的な取り組みをめざす

学校の授業が始まると、受験生はいそがしい毎日を送ることになります。塾に通う日が増えたり、予習や復習にあてる時間が長くなったりするからです。効率よく勉強を進めるには、計画的な取り組みが欠かせません。計画を考えるとき、つけられる内容にすることがポイント。「〇曜日は算数に●時間をあて、テキストの〇ページから〇ページまで」といった具体的なものにします。とても実現できない目標をもちこむことは避けましょう。予定通りに進まないようであれば、計画そのものを見直します。計画の実現にこだわる必要はなく、とくに1学期のあいだは日々の勉強を習慣化することに重きをおきます。



3 基礎がためを意識した勉強

塾での勉強は応用的な内容が増え、難易度も高くなります。基本的な力が身につけていないと、授業についていけるかという点に不安がもたれます。この時期から春休みにかけて「基礎がため」を意識した勉強に力を入れるのがいいのではないのでしょうか。「テストで出たらいやだな」と感じる単元があればテキストで復習。太字で書かれている知識事項を見直したり、例題を解いて解法を確認したりします。こんな真後に「穴」や「もれ」の補強につとめる一方、得意にしている科目や単元の勉強もバランスよくこみます。自分自身の「強み」をのまていくことも、これからの取り組みの柱になります。



4 受験する「原点」を確認

比較的、時間に余裕があるこの時期を利用し、家族で「中学受験をめざすのはなぜか」という点についてもう一度、考えてみてほしい。「同じ環境で6年間、勉強などに取り組める」「自身と同じような価値観をもつ友人たちと出会えそう」。いろいろな理由や目的を挙げることでできそうですね。中学受験をめざす長い道のりでは受験生はもちろん、保護者のみなさんも気持ちよくじけそうになる場面がやってくると思います。そんなときは「原点」に立ち返り、確認することで前向きな気持ちを取りもどせるはずです。志望校の合格をめざす1年と向き合うにあたり、ぜひ、原点を確認しておいてください。



社会

「つなげろ」というキーワードを用い、この時期におすすめた取り組みを紹介していきます。一つは、地理と歴史の知識について「関連する事柄をつなげ、理解しながら復習する」という学習方法です。多くの塾では5年生まででこの分野のカリキュラムをほぼ終えますが、教わった内容を忘れてしまうことが少なくありません。知識事項を「問一答式」にさらさらにおぼえるという「くせ」が背景にはあるものの、

理科

3科目の視点から複雑な計算を攻略。6年生になると、理科は単純な暗記だけでは対応できなくなります。「細かい計算をひたひた領域が出てきて、複雑な解法が求められるからです。」「勉強のレベルが上がると意識する」と必要になります。計算がぐちゃぐちゃさを感じる問題が多いのは、おもに物理分野と化学分野。問題を解くときのポイントを紹介しましょう。解答するときの流れは次のようになります。①問題文を読み、状況や

算数

頻出の単元を中心に基礎の見直しを徹底。この時期から春休みにかけての取り組みは、それぞれ単元の基礎をついて理解を深め、定着させることをいちはんの目的にします。これまでの勉強の復習に力を入れましょう。ここまでの勉強の復習に力を入れるのは、なかなか勇気がいることなので、この時期をじょうずに活用したいですね。「基礎は、ほほかたまたま」とおぼろげに思っている、という受験生の割合、過去問を解いてみることをおすすめします。難易度が高い学校をめざすみなさんは、入試問題のレベルを実感しておくことも大切です。ただし、第1

国語

決まりごとを確認、読解の力を高める。「国語は得意だったけれども、テストの得点が低い」と。6年生に進級すると、こんな声がよく聞かれるようになります。理由が明らかです。5年生までなら、読書が好きであればある程度の志望校まで対応できました。ところが6年生になると、正確に文章を読み取る力がなく、対応が難しくなってしまう。本書の入試をよみかえ、5年生まで6年生からではテストのつくりや性質がかわる。受験生はこの時期から読

数学

頻出の単元を中心に基礎の見直しを徹底。この時期から春休みにかけての取り組みは、それぞれ単元の基礎をついて理解を深め、定着させることをいちはんの目的にします。これまでの勉強の復習に力を入れましょう。ここまでの勉強の復習に力を入れるのは、なかなか勇気がいることなので、この時期をじょうずに活用したいですね。「基礎は、ほほかたまたま」とおぼろげに思っている、という受験生の割合、過去問を解いてみることをおすすめします。難易度が高い学校をめざすみなさんは、入試問題のレベルを実感しておくことも大切です。ただし、第1

社会

つなげろを意識し、勉強の幅を広げる。複数の知識事項に関連づけて理解が深まり、定着度もぐんと高まります。地理では「地形の特徴と産業」、歴史では「時代、人物、出来事」などをつなげてみます。一つは、勉強というよりも習慣として身につけていくことです。6年生になると、いかに毎日を送るか、ということになります。世の中は変化が速いので、世の中の変化に素早く対応できることが、社会的な問題について考える力を高めてくれます。

理科

複雑な計算を攻略。6年生になると、理科は単純な暗記だけでは対応できなくなります。「細かい計算をひたひた領域が出てきて、複雑な解法が求められるからです。」「勉強のレベルが上がると意識する」と必要になります。計算がぐちゃぐちゃさを感じる問題が多いのは、おもに物理分野と化学分野。問題を解くときのポイントを紹介しましょう。解答するときの流れは次のようになります。①問題文を読み、状況や

算数

頻出の単元を中心に基礎の見直しを徹底。この時期から春休みにかけての取り組みは、それぞれ単元の基礎をついて理解を深め、定着させることをいちはんの目的にします。これまでの勉強の復習に力を入れましょう。ここまでの勉強の復習に力を入れるのは、なかなか勇気がいることなので、この時期をじょうずに活用したいですね。「基礎は、ほほかたまたま」とおぼろげに思っている、という受験生の割合、過去問を解いてみることをおすすめします。難易度が高い学校をめざすみなさんは、入試問題のレベルを実感しておくことも大切です。ただし、第1

国語

決まりごとを確認、読解の力を高める。「国語は得意だったけれども、テストの得点が低い」と。6年生に進級すると、こんな声がよく聞かれるようになります。理由が明らかです。5年生までなら、読書が好きであればある程度の志望校まで対応できました。ところが6年生になると、正確に文章を読み取る力がなく、対応が難しくなってしまう。本書の入試をよみかえ、5年生まで6年生からではテストのつくりや性質がかわる。受験生はこの時期から読

258校にのべ751名の受験生が合格いたしました

2023年 中学受験合格実績 (五十音順)

男子	女子
青山学院 2名 浅野 7名 麻布 5名 市川 9名 海光学園 2名 米学園 8名 開成 4名 開智 4名 暁 3名 暁 3名 慶応湘南藤沢 1名 慶応中等部 2名 慶応普通部 3名 攻玉社 7名 駒場東邦 5名 サレジオ学院 17名 芝 8名 芝浦工大相 3名 芝浦工大附属 4名 渋谷教育渋谷 4名 渋谷教育葛城 4名 城山 北 7名 東 7名 暁子開成 6名	青山学院 2名 青山横浜英和 1名 跡見学園 4名 市川 7名 浦和明の星 8名 桜 3名 暁友学園 4名 大妻中野 7名 学習院女子 4名 神奈川大附属 3名 鎌倉女子学院 3名 吉祥女子 6名 共立女子 7名 慶応湘南藤沢 1名 慶応中等部 1名 香蘭女子学院 6名 児華学園 3名 香蘭女子学院 3名 三田国際 2名 栄 東 13名 実践女子学院 6名 品川女子学院 4名 渋谷教育渋谷 2名 渋谷教育葛城 2名 早稲田高等学院 3名 早稲田実業 2名 他多数合格

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧ください。

学生は一切派遣していません

創立37年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

入会の制約のない体験授業

講師へのご要望は事前に教務スタッフがお聞きいたします。このご相談はオンラインでも承っております。

- 体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。
- また、体験授業前の申込書へのご記入などはありません。
- 体験授業だけの講師ではなく、実際に担当する講師が行います。
- 指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
- 体験授業は1時間30分ですが、前後にお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
- 体験授業、ご入会後の授業ともにオンラインでも受けられます。
- 万一の場合には別の講師による再度の体験授業を受けられます。

指導料は完全な後払い

- 入会金 33,000円(税込) 一家庭無期限有効
- 月額指導料 52,800円～79,200円(税込) (週1回(各2時間)の授業で月4回の場合)

※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
※入金は体験授業でご納得いただいた後でご請求いたします。
○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不透明な費用はありません。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
○指導開始後も、多くの学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談などさまざまなサポートをさせていただきます。

ご父母対象 個別指導

入会金 不要

— 勉強を教えているご父母の方へ —
プロが知識と技術をお伝えいたします。ポイントを押さえて効果も成績も上昇。お子さんへの指導にお役立てください。

講師・教材：当会の中学受験専門講師がお子さんの使用している教材を用いて指導します。
科目・日程：ご希望の科目・単元をご希望の回数で集中指導します。
指導場所：ご家庭、教室(右記地図)のほか、オンライン指導も可能です。
指導料：4時間36,960円 6時間54,450円 8時間71,280円 10時間87,450円 (税込表記・オンライン指導以外は別途講師の交通費がかかります。)

お電話かメール (info@azabu-k.co.jp) にて事前にお問い合わせください。

●HPで最新情報更新中 ●麻布個人指導会 ●検索

0120-14-3004 03-3440-1940

麻布個人指導会 検索

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F

4科の学習ポイント

西村 和子先生

神崎 啓史先生

吉場 大祐先生

品川 高廣先生